

みゆかい

新しい風

立憲民主党沖縄県連合 〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎2丁目3-20 石川ビル4階
TEL:098-833-9411 FAX:098-833-9412



立憲民主
The Constitutional Press リッケン
RIKKEN MINSHU

号外

立憲民主編集部
〒102-0093
東京都千代田区平河町
2-12-4 ふじビル3F
Tel.03-6811-2301
Fax.03-6811-2302
goiken@cdp-japan.net
<http://cdp-japan.jp/>

ぎゅな智子（那覇市・南部）に聞く

経歴：1976年那覇生まれ、鏡原中学校、開邦高校、慶應大学、松下政経塾、IT関連企業10年、エフエム那覇、まちづくりコーディネーター。ひとり親で子育て奮闘中。

—「足元から見直す」ための具体策は？
私は働きながらNPOのメンバーとして、商店街の活性化やまちづくりのコーディネーターをやりました。一般にも大きく人の流れも多いところで空き缶集めや子どもたちと一緒に活動したり、お祭りなどを行いました。これまでも大手のコンサルタントに計画を作りを依頼して、それを実現してきました。これについては、行政が大手のAHAマラソン、歩行者天国など、地域の人は大きなイベントを開催していました。これで、大綱挽き祭りやN

—「足元から見直す」ための具体策は？
私は働きながらNPOのメンバーとして、商店街の活性化やまちづくりのコーディネーターをやりました。一般にも大きく人の流れも多いところで空き缶集めや子どもたちと一緒に活動したり、お祭りなどを行いました。これまでも大手のコンサルタントに計画を作りを依頼して、それを実現してきました。これについては、行政が大手のAHAマラソン、歩行者天国など、地域の人は大きなイベントを開催していました。これで、大綱挽き祭りやN

住民が主役のまちづくり



—沖縄の政治で一番必要なことは？
私は「くらしを支える政治」をぜひ実現したいと思っています。そのためには、「足元から見直すこと」です。今、沖縄のため、沖縄の県民のために、本当に有意義なお金が使われているのか。たとえば辺野古墓地の建設や県内のインフラの整備。国は「こんなに予算をつけた」と自慢げに言いますが、実態はどうでしょうか。大半が本土のゼネコンに支払われて、県内の中見直すことです。今、小企業には2~3割しか回っていません。つまり、見上げれば大きな予算ですが、足元を見れば、ごくわずかしかないのです。

くらしを支える
政治を

足元から見直す市民中心の政治

気づいた格差社会 沖縄に戻つて

—これまで経験したことを沖縄でどういかけますか？
竹中さんの考え方は新

る政府の方針への怒りだけではありません。最終的には2兆円を超すといわれれる莫大な建設費は、私たち県民と子どもたちに何を生み出してくれるのか、ということです。2015年、ショックな数字が発表されました。子どもの貧困（子どもがいる世帯所得が平均の半分に満たない）が、日本は7人に1人。しかも沖縄は3人に1人もに上がっています。若者にこんな現状を押しつけ続けていいのでしょうか。辺野古建設の費用を子どもの未来に使う。こうした声を皆さんどもに上げていきたいと思います。

しかし、東京から沖縄に戻ってきて仕事を始め

うか。辺野古建設の費用を子どもの未来に使う。

正規で働いている親が多いのです。未来になら

に就職の機会が少なくて非

常だう？」と思いました

が、キチッと反論できる知識もありませんでした。

この20年間で非規

雇用の人が増え、リーマンショックや新型コロナ

によって、すぐ解雇され

てしまう。この構図、沖

縄は本土以上に明確で

す。沖縄の起業率は高い

けれど、倒産件数も多い。

これは安定した仕事がな

いので、自分で起業せざ

るを得ない面もあり、失

敗するケースの多さも含

まれていると思います。

竹中理論の延長にある新

自由主義の安倍政権が、

まるで、自分では起業せざ



ジャーナリスト 佐野眞一さん

経歴 1947年、東京生まれ、早稲田大学卒、出版社を経てフリー。著書に「性の王国」「官僚、冬の時代」「昭和虚人伝」「虚怪伝」「旅する巨人」「東電OL殺人事件」「沖縄、誰も書かれたくなかった戦後史」「唐牛伝 敗者の戦後漂流」など多数。

佐野眞一です。沖縄に来るのは50回目ぐらいだと思います。僕がなぜ沖縄を通い続けているかといふと、僕がなぜ沖縄を通い続けているかといふと、

立憲民主・沖縄県連が主催する連続セミナー。今年2月の講師は、ノンフィクションライターの佐野眞一さん。多くの著作は、足で取材した労作ばかりで、独自の視線で時代を切り取ってきた。その佐野さんのお話のテーマは「私はなぜ沖縄を取りし続けるのか」。この佐野さんは「私はなぜ沖縄を取材し続けるのか」。

僕が書いてきた「戦後」

僕が生まれたのは1947年。駆け出し記者の頃から、戦後とはどういふ時代なのかが、テーマでした。まず、戦後教育

の変遷。山形県の小さな村で、やまびこ学校といふ教育があり、その43人の生徒がどういう人生を送ってきたのかを追った。日本は教育から日本がどういう人生を送ってきたのかを追った。日本は教育から日本がどういう人生を送ってきたのかを追った。

レポートを書きました。日本は戦後は教育から日本がどういう人生を送ってきたのかを追った。日本は教育から日本がどういう人生を送ってきたのかを追った。

だから経済。それを

持ってきた。本当に怪物

と言つていいでしょ

うけれども時として権力に

寄り添つていく。それが

『虚怪伝』という本で

戦争によって新聞は大き

く膨らんでいく。メディ

アは信用できる部分もあ

るけれども時として権力に

寄り添つていく。それが

県議連は辺野古基地反対のよりよい沖縄を作るための試金石

辺野古基地反対の意思を明確に

—6月7日、県議会議員選挙が実施されます。県議選の意義と争点。また選挙戦にどう取り組みますか。

玉城県政が発足して1年半。県民は辺野古新基地建設に反対の意思を重ねて示してきましたが、再び、民意を示す選挙だと位置付けています。さらにはコロナ対策や子どもへの貧困など、県民に寄り添った政策を掲げています。

—安倍首相は新型コロナをテコに改憲議論を盛り上げようという動きがあります。

新型コロナで改憲は、火事場ドロボーのようです。

があるならば、積極的に議論し検討はします。しかし、自衛隊を明記する「自衛隊加憲論」には反対です。

—安倍政権の評価は。

立憲民主党・沖縄県連

立憲民主党・沖縄県連

大城竜男幹事長に聞く

玉城県政をさらに推し進める

—玉城県政について評価は。

基地問題は、政府との対話による解決を求めるべき。新型コロナウイルス、豚熱への対応や首里城再建、子どもの貧困対策への取組みなどを評価しています。

—県議会では、「北部基幹病院の設置計画」の基本的枠組みの合意締結強めるべき。新型コロナウイルス、豚熱への対応や首里城再建、子どもの貧困対策への取組みなどを評価しています。

—2021年度に沖縄

振興特別措置法の期限が切れます。同法延長の是非や沖縄の経済的自立に向けた方策は。

翁長前知事が医師不足

・加計問題も桜を見る会も、まったく信頼に値しない政権で

十分な対策を打ち出

せていません。新型コ

ロナウイルスへの対

応ひとつ取っても、

翁長前知事が医師不足

・加計問題も桜を見る会も、まったく信

頼に値しない政権で

思ひとらずに、

翁長前知事が医師不足

・加計問題も桜を見る会も、まったく信

頼に値しない政権で

思ひ

ズサン刃野古基地建設

どんどん膨らむ工事費2兆5500億円

延びる工期2030年代

「これ以上深入りすると泥だらけになると」

沖縄「普天間基地」の陸上移設案

返還合意から24年がたつ

ながる、いまだにメドが立っていない。この間に代わった政権は11内閣。

普天間問題に政府側から民間人として関わってきた、軍事アーリスト・小川和久さんが、この春秋刊)を出版した。

小川さんの持論は「キャンプ・ハンセン陸上移設案」。

①まず、キャンプ・シュワブの一角に仮設住先を造成し、普天間の回転翼機を移駐させ

る②その後にキャンプ・ハンセン陸上部に本格移設を作る、というもの。

「これなら既存の米軍基地内に移転するので沖縄の負担は増えない」という主張だ。

米軍機能はそのまま維持されるというのであれば、「米軍基地の縮小」という本質的な解決にはならないと思うが、それほどもかく、現在進められている辺野古の埋め立ては回避される、という理屈だ。

小川氏は野中広務官房長官(小渕政権)の指示で、「キャンプ・ハンセン

完成まで12年、9300人。
億円。キャンプ・ハンセン案なら3000数億円。6000億円が浮

くなる」。著書の中で、
「辺野古の面積は、普天間の43%しかなく、米国政府を監視する議会政は、地元が何度も指摘し、軟弱地盤を、政府監査院が3回にわたる指摘している」

「辺野古更。6万本の杭を海面か

う深さ70mまで打ち込み、固めるという。しかし、専門家は「これまで日本

難易度が高く、深くなるほど工費がかかり、工期も延びる」と見ている。

しかも、防衛省担当者が国会で「70mの下は非常

に硬い粘土層」と答弁してもおかしい。

しかし、防衛省整備計画局は「各委員の活動が技術検討会の公平性・中立性に影響はない」そ

新型コロナへの立憲民主党の方針
枝野幸男代表

返還合意から24年がたつ。7年で返還といわれながら、いまだにメドが立っていない。この間に代わった政権は11内閣。普天間問題に政府側からは、様々な政治家、フィクサーが登場し、利権や思惑が錯綜して辺野古移設案が浮かれてある。小川氏はこう言う。

「辺野古の面積は、普天間の43%しかなく、米国政府を監視する議会政は、地元が何度も指摘し、軟弱地盤を、政府監査院が3回にわたる指摘している」

「辺野古更。6万本の杭を海面かう深さ70mまで打ち込み、固めるという。しかし、専門家は「これまで日本

難易度が高く、深くなるほど工費がかかり、工期も延びる」と見ている。

しかも、防衛省担当者が国会で「70mの下は非常

に硬い粘土層」と答弁してもおかしい。

しかし、防衛省整備計画局は「各委員の活動が技術検討会の公平性・中立性に影響はない」そ

う。やむを得ない」としては、「結論として延長」と思っていた方の中か

では、改良工事は深さ40mまで。70m工事は、
ほど工費がかかり、工期も延びる」と見ている。

小川和久さんが、この春秋刊)を出版した。

キャンプ・ハンセン陸上移設案」。

①まず、キャンプ・ハンセン陸上部に本格移設を作る、というもの。

「これなら既存の米軍基地内に移転するので沖縄の負担は増えない」とい

う主張だ。

米軍機能はそのまま維持されるというのであれば、「米軍基地の縮小」という本質的な解決にはならないと思うが、それほどもかく、現在進められている辺野古の埋め立ては回避される、という理屈だ。

小川氏は野中広務官房長官(小渕政権)の指示で、「キャンプ・ハンセン

完成まで12年、9300人。
億円。キャンプ・ハンセン案なら3000数億円。6000億円が浮

かれないが、マヨネーズを刺される。「これ以上深入りすると泥だらけになるぞ」

沖縄「普天間基地」の陸上移設案」で、密かに転が決まっていく様子が立っていない。この間に代わった政権は11内閣。普天間問題に政府側からは、様々な政治家、フィクサーが登場し、利権や思惑が錯綜して辺野古移設案が浮かれてある。小川氏はこう言う。

「辺野古の面積は、普天間の43%しかなく、米国政府を監視する議会政は、地元が何度も指摘し、軟弱地盤を、政府監査院が3回にわたる指摘している」

「辺野古更。6万本の杭を海面かう深さ70mまで打ち込み、固めるという。しかし、専門家は「これまで日本

難易度が高く、深くなるほど工費がかかり、工期も延びる」と見ている。

しかも、防衛省担当者が国会で「70mの下は非常

に硬い粘土層」と答弁してもおかしい。

しかし、防衛省整備計画局は「各委員の活動が技術検討会の公平性・中立性に影響はない」そ



精神論ではなく具体策を要求

延長にあたり、(1)暮らしとその道筋を明らかにしが成り立ち、事業が継続できるよう、しっかりと語りました。

とした保障をしていくことが必要。(2)どのような場合に解除をするのか、延長に際して行われた総理会見ではこうした3点が示されたことがなく、国

が継続できる体制を作成する責任が期限の5月31日までに政府にはあると強調しました。

2次補正については、「本来は延長が決定される」と同時に、少なくとも同時に第2次補正を予算案が提出されることは想定されています。この内容など、野党の提案にも真摯に耳を傾け、早期隔離の体制、感染が確認されたら速やかに隔離できる体制、(3)余力がある医療機関だけでなく救急医療や産科医療なども含め、医療危機などの危惧を持つことなく、医療が継続できる体制を作成する責任が期限の5月31日までに政府にはあると強調しました。

枝野幸男代表は8日、延長により、生活が

判。「収束させる責任があるのは政府であり、政府としてやるべきことをやった上で国民の皆さんに協力をお願いするものだ」と語りました。

枝野幸男代表は8日、延長により、生活が

判。「収束させる責任があるのは政府であり、政府としてやるべきことをやった上で國民の皆さんに協力をお願いするものだ」と語りました。

